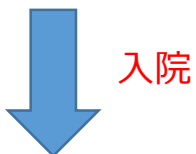


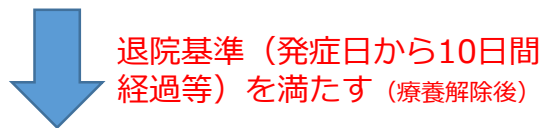
新型コロナウイルス感染症後方支援医療機関協力金

患者の流れ

入院が必要な陽性患者

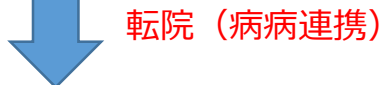


入院医療機関



回復患者

（引き続き入院管理が必要な場合）



後方支援医療機関



転院の促進による入院医療機関におけるコロナ病床確保

①後方支援医療機関への協力金

支給対象 コロナから回復した後も引き続き入院管理を要する患者※の転院を退院基準を満たしたことをもって受け入れた医療機関

※病床使用率が15%以上など、医療がひっ迫している期間に受け入れを開始した患者

支給額 2万円／人・日（上限20万円／人）

②後方支援医療機関のリストを入院医療機関へ配布

- ・協力金の支給を受けようとする医療機関は、後方支援医療機関登録届を県に提出し、対象患者の受入状況を毎月報告

（届出内容）受入可能病床数、受入条件等

- ・県は登録届の内容をリスト化し、入院医療機関へ配布

→入院医療機関において、リストを転院の連絡調整に活用

→受入状況に応じて、県は後方支援医療機関へ協力金を支給